

チーム名

河野千一ム

中央図書館長賞

参加者：お父さん、お母さん、子ども（小学4年、中学1年）

<読んだ本>

<本を書いた人>

じゅげむの夏

最上 一平/作

<感想>

・わたしは、ニセナイキシューズのところでは、ニセナイキシューズとは、ペンでナイキのもようをかくことです。それがおもしろかったです。

（子ども：小学4年）

・病気というハンディキャップがあっても、夢をたくさん持ち、何事にも挑戦しようとするかっちゃんにも、それを見守る友人3人にも心を打たれました。4人の結末は決まっているかもしれませんが、たくさんの幸せが訪れることを願わずにはられませんでした。（母）

・筋ジストロフィーという病気を持つかっちゃんを特別扱いせず、いろいろな事に挑戦するのを、うまくサポートする3人はすばらしいと思いました。

（父）

<「うちどく」をやってみた感想>

あまり家族で同じ本を読むことがないので家族みんなでおめでたのしかったです。ほかの感想を見て、自分もお母さんの感想の病気というハンディキャップがあっても夢をたくさん持ち、何事もちょうせんしようとするかっちゃんにも、それを見守る友人3人にも心を打たれました。